

平成23年第1回定例会採択請願・陳情要旨

請願第1号

高齢者肺炎球菌ワクチン接種への公費助成を求める請願

現在、日本人の死因の中では、肺炎で亡くなる人が第4位となっており、特に年齢とともに肺炎による死亡率が高くなっております。

肺炎球菌ワクチンは、肺炎を発症する原因の中で最も多いと言われている肺炎球菌に起因する病気を防ぐワクチンで、免疫効果は接種後5年以上続くと言われております。接種したほうがよいのは、65歳以上の人、糖尿病、腎臓病、肺や心臓の病気などの疾患がある人に効果があると言われております。

欧米では、世界保健機関(WHO)の調査統計によると、65歳以上の高齢者の半分以上がワクチン接種を受けています。日本においてもここ数年来、その重要性に注目が集まり、2004年10月の厚生労働省の予防接種に関する検討会において、肺炎球菌ワクチンが努力義務のある定期接種の対象として取り上げられたところであり、現在、厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会において、予防接種法の対象となる疾病、ワクチンとして検討が進められております。

現在、1回のワクチン接種に約8,000円の費用がかかります。日本では、今日までに400近い市町村が、それぞれの方法で高齢者を対象とした公費による助成措置を講じております。

県内においても現在、公費による助成を行っている市町村は15を数えます。また、政令市では、神戸市、名古屋市、仙台市が助成措置を実施しております。

また、国では、平成22年度の補正予算において、市町村が実施する子宮頸がん等のワクチン接種事業に対し、その費用の半分の助成するという制度が創設され、任意接種に対する公費助成が広まっております。

今後、ますます拡大する日本の高齢社会では、いろいろな意味でのシルバーパワーの時代だと言われております。健康で社会基盤の一端を担う多くの高齢者に対して、こうした施策が今や大きな時代的要請の一つであると御理解をいただき、特段の御高配を賜りたく存じます。

つきましては、本市在住の年金受給者協会会員3,993人を代表し、高齢者に対する肺炎球菌ワクチン接種を公費助成の対象とするよう国に強く求め、その実現が図られるよう、下記事項について請願いたします。

記

- 1 肺炎球菌ワクチン接種の公費助成実現に向けて取り組むこと

請願第2号

栄町場外馬券発売場誘致促進に関する請願

栄町を初めとする本市中央区の中心市街地の経済の低迷は長期継続しており、これまで市当局からも格段の御支援をいただいております。そのような中、地元がみずからの創意工夫により立ち上がるべく、この間さまざまな検討を進めてきたところであり、その一つに栄町場外馬券売り場の誘致があります。

平成10年5月には、栄町通り商店街振興組合総会において「JRA場外馬券売場の誘致」を決議したほか、平成21年11月には1,664名もの署名が集まり、誘致への機運の高まりを見せ、平成22年5月には熊谷市長あてに誘致促進に向けての要望書を提出し、御理解をいただいたところであります。

私たちは、土日・祝日開催のJRA中央競馬のみにとどまらず、平日開催の地方競馬の場外馬券売り場の誘致も実現することが地域経済の活性化につながると確信しております。多くの来場者を期待できることから、栄町だけではなく周辺地域の集客に多大な貢献をすることは明白であり、確実に地域経済の活性化につながるものと思われまます。また、そのことから市の税収増にも一定の貢献ができるものと考えています。

先行事例に学び、施設とその周辺的安全・安心の確保に努めるとともに、市の御指導のもと、現在進行中の各種施策のほか、栄町まちづくり再生本部とも連携し、栄町の活性化、町並みづくり、環境、事業者の選定などに十分配慮し、栄町が独自に、みずから立ち上がる施策として何としても成功させたいと念願しております。市当局にはぜひともこの思いをお酌み取りいただき、施設誘致に向けて市としてのさらなるサポート体制を整えていただきたく、下記事項について請願いたします。

記

- 1 栄町場外馬券発売場について、関係機関に対し、市としても積極的に誘致を促進する意思表示をし、関係機関との協議、折衝を開始するほか、誘致に向けての必要な施策を講ずること